

赤系ブドウ「サニールージュ」の着色を向上する環状剥皮処理

環状剥皮処理により着色を向上できます。

背景・目的

- 近年、地球温暖化の影響による夜温の上昇に伴い、ブドウの着色不良が問題となっています。
- 宮崎県のブランド品目である「サニールージュ」でも着色不良がみられます。
- 「サニールージュ」の着色向上を目的に、環状剥皮処理を行いました。

成果の内容

- 満開30-40日後に1cm幅で主幹部に環状剥皮処理を行うことで果皮色が向上しました。



写真1: 環状剥皮処理

表: 環状剥皮による果実品質

処理区	果房重 (g)	糖度 (Brix)	酸含量 (g/100ml)	果皮色 (c.c.)
2016年 30日後区	224.1	19.2	0.41	4.7
2016年 40日後区	245.8	19.0	0.38	5.3
2016年 無処理区	207.3	19.2	0.46	2
2017年 30日後区	236.5	20.0	0.38	6.3
2017年 40日後区	230.6	20.4	0.39	6.6
2017年 無処理区	218.0	19.4	0.44	3.5



写真2: 果房の色(左、中:環状剥皮、右:無処理)

成果の活用方法(又は期待される効果)

- 着色良好な果房が栽培でき、品質が向上します。
- 普及対象地域・面積 児湯地域 栽培面積 6.9ha

留意点

- 剥皮部位はテープで保護し、1ヶ月程度で除去します。
- 適正着果量を厳守します(8房 / m)。